

鉄吸収を制御して植物の高温ストレスを緩和 ー温帯性草本の長期高温ストレス適応を支える鉄吸収機構を解明ー

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、理化学研究所（理研）環境資源科学研究センターバイオ生産情報研究チームの南杏鶴研究員ら、明治学院大学の野副朋子准教授、東京大学の田野井慶太郎教授、農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）の遠藤真咲上級研究員との共同研究により、コムギなどの温帯産草本植物における長期間の高温ストレス耐性を向上させるには、土壌中の鉄吸収の制御機構が重要な役割を担うことを明らかにし、その研究成果が本日、国際学術誌「ネイチャーコミュニケーションズ」に掲載されました。

[詳細資料はこちら](#)

【参考情報】

- ・[不良土壌での農業を可能にする次世代肥料の開発に成功](#)
- ・[不良土壌での農業を可能にする次世代肥料の実用化研究が研究成果最適展開支援プログラムに採択](#)
- ・[次世代鉄肥料 P D M A トウモロコシの鉄欠乏の改善を実証～世界の主要穀物の安定供給に向けた実証実験～](#)